

球磨村総合防災マップの改定にあたって

災害常襲地帯である球磨村では、これまで、ハード面では高上げ工事、堤防工事、導流堤の整備、内水氾濫対策の実施等の事業を、ソフト面では、村民防災ブロック会議、球磨川水害タイムライン、自主防災活動支援等の事業を進めており、ハード・ソフトの両輪をもって、村民の安心・安全を守る施策を進めております。

今回、令和2年度事業計画に基づき、最新の資料を使用して、5年ぶりに総合防災マップを見直しました。主な見直し箇所は、以下の4点です。

①指定緊急避難場所の見直し

令和2年7月豪雨等の教訓に基づき、指定緊急避難場所の指定を見直しました。災害の危険から身を守るために緊急的に避難する場所として、6箇所を指定しています。

②指定避難所の見直し

平成28年の見直しでは、地区の全ての公民館等73箇所を避難所に指定していましたが、令和2年7月豪雨等の教訓に基づき、土砂災害警戒区域内及び最大想定浸水区域内に位置する公民館等を避難所から除外しました。

災害の危険に伴い避難してきた人々が一定期間滞在する場所として23箇所を指定しています。

③最大想定浸水区域を防災マップに反映

令和2年7月豪雨では「平成28年度版総合防災マップが示した所まで水が来ていた」という証言を頂いており、防災マップの有効性が証明されました。

今回は、更に精度を高めるため、平成29年3月に九州地方整備局が発表した最大想定浸水区域を防災マップに反映させました。

※1 最大想定浸水区域とは、昭和32年7月の諫早大水害クラスの大雨（1日で1,109mmの雨）が降った場合にどれ位浸水するかを想定したものです。

※2 令和2年7月豪雨では、球磨村において1日で534mmの雨が降りました。

④役場のホームページでも閲覧できるように整備しています。

本総合防災マップを通じて、村民の安全・安心を確保すべく、引き続き、防災に強い村を目指し、更なる防災力の向上を図る所存ですので、村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



球磨村長
松谷 浩一

索引

わが家の「防災・緊急情報」メモ	1	応急手当	11
防災対策&チェック	2	避難所の利用について	12
非常時持ち出し品の準備&チェック	3	避難所一覧	13
洪水・土砂	4	防災マップ想定条件	14
風水害・台風	5	球磨村全体図	15
地震	6	広域図MAP [Ⓐ] ~ [Ⓕ]	16~27
火災	7	拡大図MAP ^① ~ ^⑨	28~44
特別警報	8	メモ	45
防災対策	9	ため池について	46・47
自主防災組織	10	ため池浸水想定地図	48・49

発行：球磨村（問い合わせ：総務課 0966-32-1111）
制作・著作：株式会社ゼンリン熊本営業所
作成：令和3年3月